

第6章 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進

1 市民、事業者、行政の協働の仕組みづくり

(1) ながの環境パートナーシップ会議の運営

ながの環境パートナーシップ会議は、市民・事業者・行政の三者が協働して、環境共生のまちづくりを進めるための組織として、平成13年6月に発足しました。「Think Globally , Act Locally」の理念のもとに『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を推進しています。

①『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』

ながの環境パートナーシップ会議では、アジェンダ21（持続的発展が可能な社会実現のための人類の行動計画）が、地方自治体に対して取組を求めているローカルアジェンダとして、平成15年3月に『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を策定しました。この計画は、長野市環境基本計画の実行計画としての意味も持っており、本市の環境ビジョン、28の具体的な行動計画（プロジェクト）、環境課題の分析、推進体制・進行管理等が記載されています。

平成18年度には、更なる展開のため、重点的に進める行動計画（プロジェクト）の選定、新たな行動計画（プロジェクト）の追加等の見直しを行い、「2007年度版プロジェクト」としてまとめました。その後、環境に関する諸課題が大きく変化してきていることから平成25年度に再度の改定を行い、「アジェンダ21ながのー環境行動計画-2013」を策定しました。

アジェンダ21ながのー環境行動計画-2013策定後は、本会の活動も順調に推移しているものの目標に未だ至っていないものも散見されています。また、地球温暖化問題等を発端に世界情勢の流れが変化してきました。

このような状況と第二次環境基本計画後期計画の策定を受け、アジェンダ21ながのを継続的に進めるとともに、同後期計画と整合を図り世界情勢の動向を踏まえながら、現行アジェンダ21ながのを継承し目標値の再設定などの時点修正を行い、アジェンダ21ながのー環境行動計画-2018を策定しました。

令和元年度は、12のプロジェクトチームが行動計画（プロジェクト）の推進に取り組みましたが、10月に発生した令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、予定していた活動が実施できない年でもありました。そのような状況の中でもできる限りの環境保全活動を行いました。

②総会、理事会、プロジェクトチームミーティングの開催

令和元年度は、ながの環境パートナーシップ会議総会において、活動方針、予算等の決定を受け、ながの環境パートナーシップ会議全体の活動を企画・運営する理事会をプロジェクトチームリーダーとの合同会議を含めて10回開催しました。

また、各プロジェクトチームでは、チームミーティングを開催し、「理想の街」の実現に向けて、市民等の参加を呼び掛けたイベントや講座などの行動に取り組みました。

③イベント等への参加

信州環境フェア2019、ながの環境フェア2019にブースを出展したほか、アレチウリの駆除活動、ポイ捨て防止条例の周知・啓発活動などに参加協力し、本会の活動の拡大と活性化を図るとともに、本会の活動をアピールしました。

④プロジェクトサポーター制度

現在5つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名	主な協働事業内容
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合	夏、秋の収穫祭へ組合員が参加
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社	国際ユース環境会議へ社員を講師として派遣
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社	桜の育苗事業に人的等の支援
ぽんすけ育成	信陽食品株式会社	自然観察会へ食品提供
生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）	株式会社公害技術センター	水質調査事業の人的等の支援

⑤諸団体等と連携

環境保全活動を将来の世代に伝え、協働するきっかけとするため「第9回ながの環境団体大集合」を計画しましたが、令和元年東日本台風の影響で中止となりました。

ながの環境パートナーシップ会議 推進中の行動計画（プロジェクト）

No.	プロジェクト名	主な目標	主な活動
1	聖山自然復元プロジェクト	大岡聖山パノラマスキー場の跡地を、地域の環境に適合した植生に復元し、伝統的土地利用を考慮しながらCO ₂ 吸収源の拡大と、ボランティアによるネットワークを構築する。	令和元年度は休命中。
2	市民の森づくりプロジェクト	長野市には手入れされた里山と多様な動植物が暮らす豊かな森がある。この里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるようにする。	市民の森（ボブスレー・リ्यूージュパーク内）を定期的に整備した。きのこ駒打体験、かんじき体験会が令和元年東日本台風及び新型コロナウイルスの影響で中止になった。趣味の林業講座の開催や環境こどもサミットなど市が主催するイベントに協力した。
3	生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト	清らかな水が流れ、多くの生き物が息づいている街を目指す。	身近な水環境全国一斉調査2019や水辺の環境学習会等に参加協力した。
4	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用され、生ごみの大半がリサイクルされ、可燃ごみが減少しているまちを目指す。	キッズ生ごみ農園クラブを創設してから4年が経過。生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、夏に収穫祭を開催したほか、生ごみと野菜の交換市を毎月定期的に開催、朝市で野菜の販売を行った。また、各種イベントに参加し、啓発活動を実施した。 東日本台風災害により農園が甚大な被害を受けたため、令和2年度は復旧作業から取り組む。
5	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	再生可能エネルギーである太陽光を活用した持続可能で活力ある街を目指す。	市主催の山の日イベントでソーラークッカーを使い、啓発活動を実施した。
6	ながのカーボンオフセットプロジェクト	市民・団体・事業者一人ひとりが、生活や活動に伴う環境負荷を自覚し、環境に優しい社会構築への協働を目指す。	事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO ₂ 排出権）の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至らなかった。
7	子どもの環境学習支援プロジェクト	子どもの環境への関心を高めるため、環境学習や活動を支援する。	国際ユース環境会議実行委員会に参画し、国際ユース環境会議を開催し、英語によるコミュニケーションを図りながらテーマである「近未来へのエネルギー」を学んだ。
8	小生物の育成環境保全プロジェクト	身近な自然環境を守り後世に残すために、小生物も生息できる豊かな自然環境の保全を目指す。	住民自治協議会等と協働してオオムラサキ繁殖地の計画的な保全活動を行うとともに、環境学習等の一環として観察会を実施した。また、オオムラサキ繁殖地の整備を実施したことにより、多くの幼虫を確認した。

9	ぼんすけ育成プロジェクト	絶滅危惧種であるぼんすけ（シナイモツゴ）をシンボルとして、里山の役割と現状を市街地住民に知ってもらい、里山と市街地の市民が保全目標を共有できる街を目指す。	ぼんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい里山の保全・再生を目指して、チーム自ら稲作と林檎の栽培を開始し「ぼんすけブランド」として販売した。また、他団体等の協働によるため池の保全活動等を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動を展開した。
10	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	浅川地区住民自治協議会のまちづくり計画に位置している「ゴマシジミの保護・育成」を通して里山の整備、自然環境の保全の大切さを学んでいくため継続的な活動を行う。	ゴマシジミの生息数が少ないため、現状維持に傾注した。具体的には、生息地内の草刈・間伐、捕獲禁止の立て看板の作成・設置、生息地内のパトロール・注意喚起、ワレモコウの育苗・植栽・保護などを実施した。
11	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合う地域・街を目指す。	近隣の住民や学生と共に「田中桜公園」の整備作業を行った。 また、福寿草等を植えることにより多くの人に親んでもらえる公園作りを行った。

2 環境教育及び環境学習の推進

地球温暖化などの環境問題に関するさまざまな報道や自治体などのさまざまな主体の取組により、日常生活においても環境問題に対する意識が徐々に芽生え始めています。この芽を育て、環境負荷の少ないライフスタイルを広げるためには、市民一人ひとりの認識・理解を深めることが必要であり、そのためには、学校や家庭・地域・職場などにおいて環境教育・環境学習を総合的に推進することが重要となります。

本市では、教育機関や環境保全団体、ボランティア団体などと協働で、次世代を担う子どもたちへの環境教育を中心にさまざまな事業を実施しました。

(1) 長野市環境学習会

①自然・水環境の学習会

『飯綱高原森林博物館・大谷地湿原での動植物観察会』、川や水に親しみ環境保全意識を高めることを目的として、水生生物調査『夏の川遊び』を、また、山と親しみ自然の大切さや地域の歴史を理解することを目的として、『山の日イベント』を実施しました。

<p>・『飯綱高原森林博物館・大谷地湿原での動植物観察会』</p> <p>実施日：令和元年6月22日（土）</p> <p>場 所：飯綱 大谷地湿原と森林博物館</p> <p>参加者：49名</p> <p>講 師：長野市自然環境保全推進委員、地球温暖化防止活動推進センター 森林農地整備課職員、戸隠地質化石博物館職員</p> <p>内 容：動植物観察会とモリアオガエルの卵塊数調査</p>

・『夏の川遊び 1』

実施日：令和元年7月27日（土）

場 所：長野市松代町 蛭川・関屋川公園

参加者：77名

講 師：長野県環境保全研究所 北野研究員

内 容：川の様子調べ、水生生物調査

・『夏の川遊び 2』

実施日：令和元年8月2日（金）

場 所：長野市松代町 蛭川・関屋川公園

参加者：74名

講 師：戸隠地質化石博物館 古賀研究員

内 容：川の様子調べ、水生生物調査

・『山の日イベント 茶臼山の自然を楽しもう』

実施日：令和元年8月24日（土）

場 所：篠ノ井茶臼山

参加者：56名

協 力：ながの環境パートナーシップ会議、篠ノ井地区住民自治協議会

内 容：茶臼山トレッキングコースの散策、木工クラフト体験等

②大気環境の学習会

近年問題とされている「光害」や「大気」について関心を持ち、大気環境の保全意識を高めることを目的として、星空の観察を行いました。

・『^{ひかりがい}光害抑制イベント 夜のプラネタリウムと天体観測』

実施日：令和元年11月23日（土）

場 所：長野市立博物館

参加者：28名

講 師：長野市立博物館学芸員

内 容：①講義 光害について、プラネタリウム鑑賞

②観察 星空の観察

③地球温暖化防止学習会

「自然エネルギーってすごい！いろいろなエネルギーで遊んでみよう！」と題し、地球温暖化防止活動推進センターと共催で開催。地球温暖化や自然エネルギーについて学習しました。

・『自然エネルギーってすごい！いろいろなエネルギーで遊んでみよう！』

〈長野市地球温暖化防止活動推進センター共催事業〉

実施日：令和元年11月17日（日）

場 所：長野市芸術館展示サロン、桜スクエア
 参加者：215名
 講 師：長野工業高等専門学校教授、地球温暖化防止活動推進員
 内 容：親子でスーパーソーラーカー作り
 体験・展示コーナーでのスタンプラリー、水素自動車の展示、ソルガム試食

(2) こどもエコクラブの活動支援

こどもエコクラブは、平成7年度に始まり、現在は公益財団法人日本環境協会が主体となり、自治体や関係団体が連携して、子どもたちの学習や活動を支援するクラブです。

○長野市におけるこどもエコクラブ登録数の経年変化

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
クラブ数	11	9	6	2	2	2
会員数	324	329	284	71	66	58

(3) 第24回長野市環境こどもサミット

日頃から環境学習や環境活動に取り組む子どもたちが、その成果を発表したり、意見交換をしたりする機会として、実行委員会の主催で平成8年度から開催しています。平成21年度には、それまでの「長野市環境こども会議」から「長野市環境こどもサミット」に名称を変え、更なる活動の活発化を図りました。

今回のサミットは、「自然のめぐみからのエネルギー 地球を未来につなげるために考えてみよう！」をテーマに、講演会や体験ブース等を通じて、具体的な行動を起こす機会となることを目的に開催しました。

第24回 長野市環境こどもサミット
 開催日：令和元年10月27日（日）
 会 場：長野市リサイクルプラザ 来場者：約600名
 主 催：長野市環境こどもサミット実行委員会
 （長野ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト長野、長野県環境保全協会北信支部、ながの環境パートナーシップ会議、長野市、長野市教育委員会）
 協 力：わくわくリーダーズながの、長野県環境エネルギー課、長野工業高等専門学校、長野工業高等学校、信州こども食堂ネットワーク（事務局NPO法人NPOホットライン信州）
 内 容：・環境学習発表会
 芹田小学校 「できることから始めよう～児童会での取り組み～」
 西条小学校 「未来へつなごう ふるさとの森 森の感謝際にむけて」
 信州新町小学校 「水とわたしたち」
 ・学習会
 長野は自然エネルギーの宝庫
 講師：長野県エネルギー課 井出 洋文氏
 水の流れを電気に変える～新しい水車の研究～
 講師：長野工業高等専門学校 下島 柊平さん

ソーラーエネルギーで地球を守ろう

講師:長野工業高等学校 松本 慎也さん、渡邊 創太さん

・環境標語コンテスト表彰式

・体験ブース

長野工業高等専門学校、長野市地球温暖化防止活動推進センター、市民の森ながの、NPO法人みどりの市民、国際ソロブチミスト長野&信州大学教育学部環境学生委員会、長野ライオンズクラブ

・展示

コンテスト応募作品、水素自動車、ながの環境エネルギーセンターごみ発電について

(4) 指導者養成事業

環境教育・環境学習の指導者の養成と資質の向上を目的に、学校の教職員を対象とした「環境教育教職員研修講座」を開催しています。

令和元年度事業実施内容

・『教職員研修』

平成24年度から市教育委員会（教育センター）と連携し、教職員が求める環境教育研修を開催しています。

実施日：令和元年5月16日（木）

場 所：ながの環境エネルギーセンター

参加者：教職員12名

講 師：ながの環境エネルギーセンター職員、生活環境課職員、市教育委員会指導主事

内 容：小学校4年生の社会見学で学習する「ごみ」の教科学習について、市職員の説明を受けることで、教材研究を深めるとともに環境への意識を高める。

(5) 環境に関連した書籍等の活用

6月の環境月間にあわせて、子どもたちを中心に多くの方々に環境に関する書籍に触れてもらう機会を設け、環境問題を身近なものと感じて、関心と理解を深めてもらう契機とすることを目的に、小学校、中学校、公民館、図書館、幼稚園、こども広場、読み聞かせグループに「環境関連図書を集めたコーナー」の設置や「環境に関する読み聞かせ」の実施をお願いしています。

○令和元年度実績（市内小中学校を除く）

報告書を提出いただいた施設の数	73 施設
「環境関連図書コーナー」の設置施設数	65 施設
「環境関連図書コーナー」の設置数	108 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施施設数	50 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施回数	541 回
「環境」に関する取り組みを実施した施設数	61 施設

○市内小中学校については、44校が実施しました。